

帰省するつもりで
訪れる青森

めぐ太郎

2017年
11/30
刊行

横浜は伊勢佐木町のふたり出版社(うち1名が青森出身)、星羊社が創刊する青森地域情報本『めぐ太郎』(「めぐい」は津軽弁で「可愛い」を意味する)。
これまで横浜で「読むツマミ」をコンセプトに『はま太郎』という地域情報誌を刊行していた編集部が、この度、青森を舞台に**観光から一步先の旅をしたい人のための情報誌**を刊行します。

◆居酒屋・鮎屋・スナック…魅せられたのは店主と向き合うカウンター席

タベはずましのカウンターで

ねぶたが終わり、「明日から冬」と呟きながら飲む。郷愁誘う鮎屋酒/津軽衆はケチが嫌い。ママさんの豪快な注ぎに愛情覚える地酒スナック/金魚ねぶたの温かい灯のもとで筋子の握り飯を頬張る/ほか

◆豪華執筆陣によるエッセイ集 ～青森市編～

あもりに帰ったとき、私がかならず訪れる場所

全国で活躍する青森出身者が綴る思い出の味、魅力あふれる人たち。

執筆陣…月永理絵(『映画横丁』編集人)/木村イオリ(bohemianvoodoo、作曲家)/レインボックス(ひと箱古本市名物店主) ほか

住んでいるからこそ見えた?! インタrestイグな青森のへり

地元在住の文化人が綴る、「青森」。ポーランドと青森市の意外な共通点に着目するポーランドジャズコラムニストのオラシオ氏、古川で郷土本から話題のミニコミ・新刊までを扱う古書店を立ち上げた「古書らせん堂」の三浦氏らが寄稿。

◆大衆文化から歴史まで、文字にしたため、はばたかせる

老舗出版社「グラフ青森」の軌跡

地域情報誌『青森の暮らし』を刊行する地元出版社。「青森のそば」「津軽ごぎん」「煮干&ラーメン」…など、案外地元人も知らなかった情報を40年以上にわたり届け続けてきた。観光よりも一步先を行きたい人のための地域情報誌を編集する名物編集人、下池社長をインタビュー!

◆地元通になるためのコラムあれこれ

青森人は「屋台文化」が大好き。おでんから焼きそばまで、屋台の魅力にはまる! /開港により造り酒屋が溢れた街で「今夜の一本」を選ぶ。～老舗酒屋の店主を訪ねる地酒探訪録～ /喫茶店ブームからコーヒーフェスまで。青森の喫茶黄金時代を追えばたどり着く懐かしの風景/ほか

◆先人の作ったユートピアを追う 歴史ドキュメンタリー「津軽理想郷譚」

堤川河口の不夜城「青森遊廓」で見た春の夜の夢

青森市の経済を背後から支えた青森遊廓の趨勢。4階建て大妓楼の前にガス燈が灯る華やかな街並み



判型：A5

定価：1,111円+税

頁数：120頁

発行：2017年11月30日

ISBN978-4-9908459-5-7
C0026

このほか
青森市の酒場にま
つわるコラム、エ
ッセイ、レシピな
ど企画色々

注文カード	流通センター 取扱品	ご担当者様	発行所 星羊社 (発行所)	申
	書店名		TEL: 045-315-6416 FAX: 045-345-4696	
書店名	FAX 03・3235・6182	書名・著者名	めぐ太郎	注文数
書店名	書店名	ISBN978-4-9908459-5-7 C0026	定価1,200円 本体1,111円+税8%	

株式会社 星羊社 営業担当：星山
〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-3-1 イセビル 402
TEL: 045-315-6416 FAX: 045-345-4696

※返品ご希望の場合は地方小出版流通センターへFAXで返品依頼書をご送付ください。ご不明点は星羊社までお問い合わせください。